

(挨拶、資料説明省略)



<嬉野市商工会>

嬉野温泉の観光地としての顔は商店街だと思っている。商店街では、商業を営んだり、中にはシャッターを下ろして2階にお住まいになっている方もあって、個人の住居権の自由はあるけれども、やはり店舗として街並みを豊かにしてほしい。温泉地らしい街並みを作っていただきたいという思いで、ぜひ一方通行をやっていただきたい。新幹線の駅からバスセンターの方向になるのかなと思っているが、昔の歓楽街の一部が商店街の入り口に位置しているので、これをどうかわすかということはあるけど。今回良かったのは、小学生や父兄の方から背中を押してもらえ意見が出ていて、ますます安全な街並みを整備していかなければいけないと思った。以前イタリアに行った時に見た街並みの話になるが、店のシャッターがリングシャッターになっていて、手前の商品にスポットを当てていたのがとてもよかった。鉄のシャッターを閉めるのではなく、リングシャッターにして商品にスポットを当てているので、夜でも街をうろうろ歩けた。店側は自分の店の主力商品を見せながら、素敵な街並みになるいいアイデアだなと思った。

<嬉野市商工会>

どちらの案がいいか決めかねてはいるが、現状が相互通行なので、一方通行の方を試しにやってみたらいいのではないかと考えている。やってみることで、良いところ、悪いところが見えてくるのではないと思う。

<温泉区>

一方通行、非常にいいと思う。子供の意見でもあったように、路上駐車が常態化している。隣の武雄市は嬉野市と同じ温泉町だけど、かなり規制が厳しいらしく、武雄の人から見たら、嬉野は甘いと言われる。観光客の安全だけでなく、市民の安全を守るためにも、商店街での違法駐車はもつと取り締まってもらった方がいいと思う。私自身、横断するときに何回かヒヤッとしたことがあって、車が止まっていなかったら危なくないのと感じた。子供さんや親御さんの意見にも出ている。一方通行については、メリットデメリットはあると思うが、私は試しにやってみたらいいと思っている。

<温泉区>

今の社会、街中や商店街へ来る人達は、スピーディな生活をしているのではないと思う。歩いて行けばゆっくと店の商品を見ることができる。でも、車で行くと、店の前に止めて、長い駐車もままならないので、買物してスッと帰る。そんなふうに私は感じている。佐世保のアーケード街に行くときは、周辺の駐車場に車を止めて、歩いてゆっくりアーケード街の中を見ろという行動をほとんどの人がとっている。嬉野の商店街が今こういう状況であるから、スピーディな買物になっているのではないと思う。今後、嬉野の商店街をゆっくり見ってもらうためには、一方通行案で車はあまり通りに入らないようにした方がいいと思う。商店の品物の出し入れなど車の侵入は、時間帯を決めるなどして商店街の人も困らないような対策取りながら、嬉野は観光客ばかりではなくて、

嬉野市民もゆっくり過ごせる商店街になればいいと思う。歩いてくればゆっくり買物をしてもらえるとというふうに、商店街の人達も少し考え方を覚えてもらえるといいと思う。

#### <株佐賀タクシー>

嬉野の良さを、みんなで再認識することが非常に大事だろうと思う。同じような温泉地はいくらでもある中、行きたいところに行くという形がはっきりし、競争が厳しくなってくると思う。他の土地でもみな同じだとは思いますが、今の状態をそのまま続けていてその先に未来はあるのか、どうしても現状から変化することには勇気がいるけれども、このまま何も変わらなくていいのか、ということをよく考えなくてはいけないと思う。そんな中、新幹線の駅ができ、嬉野の顔の通りをみんなで考えようというこの機会を十分活かして、なおかつ、生活される方にはいろいろな意見があるでしょうが、嬉野のための、みんなの、という視点があるなら、そこの部分をよく議論して、なんらかの形の一步を踏み出すことが重要だと考える。ただ、他のところもみんな努力しているので、嬉野の個性の部分を大切にする必要はあると思う。私も交通事業者としては、利用する方、街の方の暮らし方、価値観も変化していくと思うので、その変化に応じて、できることは対応していきたいと考えている。

#### <温泉タクシー(株)>

一方通行について、どちら向きを想定されているのか。

#### <事務局(建設・新幹線課)>

この検討会で社会実験は一方通行案でということになれば、次回の検討会の中で、一方通行の向きなどを含めた検討を行っていかうと考えている。

#### <温泉タクシー(株)>

一方通行で道幅3mだと、路上駐車は無理ということになると思う。従来路上駐車をしていた車には、定められた駐車場に入れてもらうことになると思うが、駐車場の確保はできるのか。

#### <事務局(建設・新幹線課)>

買物客が駐車している場合と、お店の方が駐車している場合と2通りあると思う。買物客についてはシーボルトの湯のところの駐車場や体育館のところの駐車場を利用していただくか今のところはないと思っており、市の方で新たな駐車場を整備するという話は進めていない。あと、お店の方については、24時間駐車されているわけではないので、荷捌き以外の時間は、個別に確保されている駐車場にきちんと止めていただければ、路上駐車ができなくなっても問題はないと考えている。

#### <温泉タクシー(株)>

路上駐車ができなくなったことによって、街にやってくるお客さんの数が減ってしまうのは本末転倒だと思うので、それが懸念された。また、タクシー事業者としては、年配のお客様はタクシーの乗降に時間がかかるので、幅員が3mだと後ろからくる車に非常に気を遣うことになるため、道幅はできるだけ広い方がいいと思っている。場合によっては、荷下ろしをするためのスペースを作るという話もあったので、そこに一旦止めさせてもらうのもありかなと思ってはいるが、このスペースに、長時間駐車する車があるとそれも困ることなので、その辺の対策も十分やっていただきたい。それから、一方通行をするときには、南側は難しいと思うが、北側の道路で逆方向に走れる道路を整備していただきたい。どうしても一方通行の方向とは逆方向に行かなければいけない時に、道を探さなければいけなくなるので、そのことを考えておいてほしい。

#### <鹿島警察署>

社会実験の2種類の案について、警察としてどっちにしろとは言えない。一番は事故が起きないこと。そういう意味では、対面通行の車道幅員4mは狭すぎると思う。よくある事故の中にすれ違い時のドアミラーの接触事故があるが、河川の堤防道路など河川管理用に作られた道路で、道幅が狭く、そこを抜け道として利用する車同士がすれ違い時に接触するというケースが少なくない。やはり、幅員4mは狭すぎると思う。いずれにしても、交通事故のない、安全な対策をお願いしたいと思う。

#### <杵藤土木事務所>

これまでの経験の中で、社会実験という短期間で行うのであれば、一方通行の方をやってみた方が問題点などを明らかにできるのではないかと思う。対面通行の方は、歩道は広くなるけど今の形とあまり変わらないので、ある程度の問題点は今の状況からもわかると思う。社会実験という形でやるなら一方通行の方をやってみた方が、今後の参考になるかと思う。

#### <嬉野市(総務課)>

一方通行の方が歩行者と車の事故がないと思うので、実験的にやるのであれば一方通行で、実施してみても問題を明らかにしたらいいと思う。

#### <嬉野温泉商店街協同組合>

昨年末にあった説明会の中では、20名の参加者中10名くらいは一方通行は反対をされていた。意見として言われていたのは、生活道路であるし、店の前に止めて買物されているのに、一方通行になると困るということだった。でも、客観的にその話を聞いていて、商店街の方には危機感がないなと感じた。せっかく新幹線が来ても、何もせずに指をくわえてはお客さんは来ないと思う。なんらかのカンフル剤を入れて、商店街の人たちももっと頑張ろうと、何かしないといけないよねと考えを改めない限りは、なかなか一つの方向に向かっていけないのかなと感じている。

#### <嬉野温泉商店街協同組合>

観光客の安全安心を考えると一方通行しかないと思うけど、問題点も色々あると思う。特に、わき道で離合ができるかという点が非常に問題になってくると思う。もう一つは電柱が道路の一部をつぶしている点。その辺も解消されると一方通行でいい街になると思う。実証実験では一方通行をやってみて、問題点を洗い出してどう解決していけばいいかを考えていけばいいと思う。もうひとつは駐車場の問題で、買物客がどこに止めるか、高齢化するでしょうから、駐車場の問題もあると思う。

#### <嬉野温泉旅館組合>

一方通行がいいと思う。新幹線が開業した後の将来の嬉野を考えたときに、相対的に、全体を見てベストな方向で考えていきたい。生活道路としても何らかの対応をとりながら、進めていく必要があると思う。

#### <(一社)嬉野温泉観光協会>

3回の検討会でこれだけの資料を作っていただいた建設・新幹線課に敬意を表したいと思う。データもしっかり取っており、メリット・デメリットもきちんとまとめてある。デメリットの部分を見ていて、自動車の走行方向が限定、場合によっては周辺道路の一方通行も必要とあるが、これは一方通行によって安全な交通の流れができるということでもある。それと、大型車の通行が制限されるとあるが、これは仕方がないことだと思う。ただし、現在大型の観光バスが本通りをとお客さんを降ろしていることはほとんどない。この資料に出してあるデメリットはそ

う大きなデメリットではないという気がしている。それから、警察の違法駐車を取り締まりが全くなされていなくて本当に危ない。弱視の方が杖をついて歩かれていると、見ている方が怖いくらい。車道にはみ出たときに対向車が来ていることもあって、そんな状況でよく事故が起きないものだと思う。本通りの違法駐車を取り締まりは今すぐできる対策だと思う。それから、先ほど、一方通行をすることによって車で来るお客さんが減るんじゃないかという発言があったが、それは杞憂だと思う。自分たちが外へ遊びに行くとき、買物に行くときは、ちゃんと駐車場に止めていく。違法駐車をしている人は、ここに止められないなら嬉野には来ないぞという人達ではないと思う。実証実験としては一方通行をやってみて、一方通行にした場合の問題点を考えていきたい。定住人口が半分になって、交流人口が増える、こんな中では商店街を歩く人の構成が変わってくるはず。日常の買い回りから観光に比重が変わっていく。そうなると、安全、きれい、将来性、その3点を見ていくしかないと思う。

#### <事務局(建設・新幹線課)>

発言の中にあつた、滞在時間を伸ばそうという意見について、これは観光客だけに限らず、本通りを楽しむ時間を増やすということは、活性化という意味での大きな指標になるのかなと感じた。もし社会実験をやるとした時に、滞在時間がどれだけ伸びたのかという視点は、いい判断指標になると思った。それから、今後新幹線開業にあたり、将来的な観光客や人口動態でも本通りにおける生活スタイルが変わっていくと思うので、今日皆様からいただいた意見をもとに、一方通行の形で社会実験を進めさせていただければと思う。次回は3月末くらいになると思うが、本年度最終の検討会を行いたいと考えており、その際に、一方通行はどっちの方向でやるのか、周辺道路の出入りをどうするのか、どの時期に実験をやった方がいいのかななどを議論していただいて、今年度の検討会をしめくりたいと思っている。

#### <温泉区>

先ほどの発言にもあつたように、一方通行の方向とは逆方向に走る道路をしっかりと考えてほしい。真ん中に道があることはあるが、本通りの北側に建物があつて、その後ろに水路が通っていて横に軽車両が通れるくらいの道がある。問題がなければ、水路にふたをして道を広めにする事で、近所の方たちが通れる道にできれば、少しは打開策になるのではないかなと思う。それから、駐車場については、今はシーボルトの駐車場くらいしかなくて、一番いい真ん中の場所は空地で空いたままになっている。どうせ遊んでいる土地なら、市で借用して駐車場にしてもらえたら、先ほどの水路の道ともつながっているから、町の人も利用して買い物に行けるのにとっている。将来の一方通行のためにプラスアルファになるのかなと感じている。

#### <事務局(建設・新幹線課)>

今回商店街の方の参加が少なかったので、次回第4回検討会の前までに、一度商店街の方々との話し合いの時間をもちたいと考えている。

#### <(一社)嬉野温泉観光協会>

商店街の方たちは、自分たちにとって大きなテーマなのに、なんで検討会に参加しないのか。数少ない大事な話し合いの場なのでぜひ出てきてもらいたい。

#### <嬉野温泉商店街協同組合>

今回の検討会は、開催日程の連絡がうまく伝わっていなかった可能性が高い。

#### <事務局(建設・新幹線課)>

商店街の方とは、次回会議の前に場を設けさせてもらいたいと考えているので、市の方から日程調整の連

絡をしようと思っている。

<嬉野市商工会>

湯布院の湯の坪街道は、昔は非常に風情があっていい通りだったけど、逆に温泉地の顔になりすぎて、今では韓国人や中国人だらけになってしまったことで、通りも変わってしまった。湯布院に行きたいという日本人の若い女性がいなくなっている。インバウンドのお客さんが増えるのはいいけれども、あまり一箇所に集中しすぎないように、分散できる見どころも考えてほしいと思う。本通りの一方通行だけでなく、嬉野全体のこととして考えてもらったらいいと思う。

<(一社)嬉野温泉観光協会>

泊りは福岡で、湯布院は日帰りするという外国人が増えている。

<事務局(建設・新幹線課)>

先日聞いた話でも、湯布院には日本人がほとんど来なくて外国人ばかりになっているということだった。通りにある店は地元の方がやっているのではなく、外国人向けの商品しか売らない東京の店が出店してきているため、それによって、ブランド力が低下して日本人はさらに行かなくなっているという話を聞いた。

<(一社)嬉野温泉観光協会>

荷捌きスペースについて、40～50mに1台というのは、かなり効果があるのではないかなと思う。今よりも、結構便利になるかもしれないと思った。

<事務局(建設・新幹線課)>

30分以内の荷捌きのみ可という形になるかなと考えている。全部がいつも埋まっていたら意味がないので、そうならないようにしなくてはと考えている。

<嬉野市商工会>

ビジネスをやる上で、店をやる人が自分たちで駐車場を持つことは常識だと考える。旅館など努力しているところもある。

<事務局(建設・新幹線課)>

先ほど、空いた土地を駐車場にという発言があったが、駐車場をやることも商売になるのだから、民間の方が駐車場を運営されてもいいのではないかなと思っている。

<(一社)嬉野温泉観光協会>

商店街の買物客のために駐車場を行政が整備するなんてありえないと思う。それは商店街の役割だと思う。武雄市は違法駐車がなく、駅からの道がとてもきれいだった。